

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		福祉会館管理運営事業		コード		01030200-0102		
中事業名		老人福祉センター運営事業		計画区分		③		
担当部等		健康福祉部		担当課等		福祉会館		
総合計画		コード	名 称	予算科目	コード	名 称		
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
	基本施策	03	高齢者福祉・介護保険		款	03	民生費	
	主要施策	02	健康づくり・介護予防の充実		項	01	社会福祉費	
					目	04	福祉施設運営費	
					大	01	福祉会館管理運営事業	
					中	02	老人福祉センター運営事業	
	根拠法令・条例等		老人福祉法					
基本計画等								

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	健康推進事業として、体操などを行う「おたっしやハウス」を実施する。また、介護予防事業として、送迎を行いながら、体操やレクリエーション、会食等を通じて、健康でいきいきとした生活を送っていただくよう「コミュニティサロン」を実施する。さらに、フレイル、介護予防を主軸とした医療専門職による健康づくりの講座や仲間づくり、地域づくりのための交流の場の提供などを行う「アクティブシニア倶楽部」を実施する。
対象	市が行う業務
意図（目的）	高齢者の健康維持や介護予防を目的とし、個人及び団体での会館利用を進める。また、健康習慣を身に付けることでフレイル状態を予防して健康寿命の延伸を目指すとともに、学びを通じて仲間づくり、地域づくりにつなげる。
手段	「おたっしやハウス」（各館週1回）、「コミュニティサロン」（各館週1回）、「アクティブシニア倶楽部」（岩崎台・香久山福祉会館で月2回全12回）の実施

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			10,494	5,874	8,882	7,367	9,073	8,302	10,443
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	1	0	216	0	324
	一般財源		10,493	5,874	8,881	7,367	8,857	8,302	10,119
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		4.56 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		29,540.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				5,874		7,367		37,842	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	コロナウイルス感染状況を把握しつつ、通常体制（1日）への切り替えがスムーズに行うことができるように準備をすすめる。また新たな会員獲得を民生委員・包括支援センターなど関係者と協力してすすめる。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	会員の意見や地域の関係者から情報を得て、新たな健康増進などのプログラムを開発することで、短時間でも対応できるような、効率的なコミュニティサロン事業を行う。また、コミュニティサロンスケジュールが1日になるように6館で調整を図る。
令和 4年度に 取り組んだこと	コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せる中で、コミュニティサロン事業について、10月からは半日体制から1日体制への切り替えを行った。また、コロナウイルス感染予防対策のため行われた外出規制に伴う体力や認知機能の低下についてを軽減するために、コミュニティサロン事業にフレイル予防のためのカラオケ機器の導入をするなど工夫を行った。
成果	コロナウイルス感染予防時期の半日体制では会員の参加率は低下していたが、コミュニティサロンが1週間に1回通常体制（1日）で開催されるようになったことにより、会員の参加率が向上した。
課題	コミュニティサロン事業において、レクリエーションや会員間・民生委員など関係者とコミュニケーションが行われ、体力や認知機能の低下軽減に効果が認められるが、日常生活においてもフレイル予防を意識した生活習慣につなげられるか課題。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	要支援・要介護の予備軍とされるフレイル状態を防ぐことは、健康寿命の延伸につながり、高齢者本人だけでなくその家族を含めて生活にゆとりができ、コミュニティサロン事業の完全再開により、会員自身の健康維持と家族の生活基盤の安定に繋がっているため。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		介護予防事業のコミュニティサロン事業の向上だけでなく、前段階での対策として健康増進事業として、体操などを行う「おたっしやハウス」の内容などの拡充について6館で検討を行う。また、コミュニティサロン事業の行事内容について指導員とともに考え、充実を図り日常生活におけるフレイル予防の推進に繋げる。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		介護予防事業から健康推進事業まで幅広く対応できるような、事業を行う。具体的には体操などを行う「おたっしやハウス」について、オーラルフレイル予防などを追加し内容の拡充を図る。			

【アウトプット指標】

指標名	コミュニティサロン開催回数					単位	回
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	230.00	70.00	230.00	170.00	231.00	231.00	233.00

【アウトカム指標】

指標名	コミュニティサロンへの1年間の参加率					単位	率
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	36.60	100.00	40.70	100.00	66.20	100.00
式	コミュニティサロン1年間の参加率						
指標の狙い	コミュニティサロンは高齢者の介護予防のため、要介護認定されていない方を対象としており、対象者が参加しやすい環境を整え継続して事業を行うことを目的とする。						